

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	令和8年2月16日		～ 令和8年3月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和8年2月16日		～ 令和8年3月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月6日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家庭との連携を重視し、送迎時の声かけや記録を通して子どもの様子や成長を丁寧に伝える姿勢が確立している。 保護者が安心して相談できる雰囲気づくりができており、信頼関係の構築につながっている。	家庭支援の充実を図るため、送迎時の声かけや記録の丁寧な説明を意識し、保護者が状況を把握しやすいよう工夫している	家庭との連携をさらに深めるため、相談体制やフィードバックの方法を標準化し、保護者が安心して相談できる環境を整えていく
2	子どもの特性や当日の状態に応じた柔軟な支援が行われており、個性を大切にしたい関わりが定着している。 職員が子どもの変化を丁寧に観察し、活動内容や環境をその都度調整する姿勢が根付いている。	・子どもの当日の状態や特性に合わせて、活動内容・環境・声かけを柔軟に調整している ・個別スペースの確保やクールダウン環境の設定など、安心して過ごせる工夫を日常的に行っている	・子どもの特性や当日の状態に応じた支援方法をより体系化し、職員間で共有する仕組みを強化していく。 ・個別支援の内容や環境調整の工夫を蓄積し、事業所全体で活用できるよう整理していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域住民や関係機関とのつながりが弱く、子どもたちの経験の幅を広げる機会が少ない。	・コロナ禍以降、地域行事や外部機関との交流が中断していたため、関係構築の機会が大幅に減少した。 ・その結果、地域住民や関係機関とのつながりが弱まり、子どもたちが地域で多様な経験を積む機会が少なくなっている。	・地域住民や関係機関とのつながりを再構築し、交流機会を増やすための働きかけが必要である。 ・地域イベントや共同活動の再開に向けて、段階的な準備と安全管理の整備を進めることが求められる。
2	他事業所との交流や情報交換の機会がほとんどなく、支援方法の幅を広げる機会が不足している。	・他事業所との交流が少ないため、地域連携の方法や成功事例を共有する機会が限られている。 ・結果として、地域とのつながりを広げるための具体的なアプローチが見えにくくなっている。	他事業所との情報交換が不足しているため、交流機会の創出やテーマを設定した意見交換、地域資源の活用など、負担を抑えながら連携を強化する工夫が必要である。
3			